

久しぶりの発刊となりました!!今回は、図書委員長・副委員長と広報係おすすめ本の紹介をします!!
興味を持ったら、是非、借りてみてください!!

命のカウンセリング 長谷川泰三 図書委員長 高2-4
世の中には様々な問題があります。自殺、子供が幼い時に両親が離婚、家庭内暴力、一家心中・・・、そのような危機に遭遇したとき、人は助けてとすぐに言うことができません。「助けて」と言っていたら、助かる命があったかもしれない・・・
そんなことがわかる一冊です。

スイッチを押すとき 広報係 中2-3
「スイッチ」——それは子供の命の代わり。収容所に入れられ、スイッチをもたされてそれを押すと自殺できる。そこで繰り広げられる5人の子供と1人の監視員の非現実的な物語。

有頂天家族 図書副委員長 高1-1
京都は糺ノ森に住むたぬきの名門・下鴨家。その家長・総一郎はある日突然、鍋にされてこの世を去ってしまう。残されたのは面白主義者の主人公・矢三郎と個性的な母親に兄弟、天狗に妖女も巻き込んで、京都で起こすは化し合い、読めばきっと京都に行きたくなる作品です。7月にアニメ化予定。

クリスマスイブの出来事 星新一 広報係 中2-1
独特の雰囲気。張り巡らされた伏線。どんでん返しのラスト。星新一さんのショートショートシリーズはそんな作品が多いです。短くて面白いシチュエーションばかりですし、簡単なものから難しいものまで範囲は様々なので本が苦手な方も是非読んでください。

夜の光 坂木司 広報係 中2-2
この物語には、4人の高校生スパイが出てきます。彼らそれぞれの理由から、天文部に集い、たがいをコードネームで呼び合うようになります。
それは彼らを支え、潜入先の敵達との戦いに力を与えるのです。

クビキリサイクル 西尾維新 広報係 高1-B
この本の作者の作品は基本、予測できないものとなっています。ボク自身様々な本を読んでいます、こういう予測できない本は予測できないところがとても面白いのです。皆さんに予測できない物語を予測してほしい!ということで選びました。
故に、本の内容は読んでからの楽しみということでひとつ。

詩羽のいる街 広報係 中2-1
ある街に詩羽と名乗る女の子がいて、その子はここで数年ずっとお金を持たずに生きているという。そして職業(?)は人に親切にすること。その詩羽の親切で助けられた人がいっぱいいる。そんなある日、自殺しようとしている女の子を見つけて・・・